

# 環境エネルギー技術革新計画中間とりまとめ(案) 骨子

参考資料1

目標: 世界一の省エネ国家・低炭素社会を実現し、先進国をリード、途上国の発展を支援

前提

- ・エネルギー安全保障の確保
- ・食料生産との競合回避や生態系保全
- ・環境と経済の両立

## 1. 我が国の低炭素化社会実現に向けた技術戦略

### ○短中期的対策(～2030年)

- ・削減効果の大きな技術 ～普及と技術の更なる向上～  
供給: 高効率火力発電(石炭及び天然ガス)、原子力(軽水炉)  
需要: 高効率ヒートポンプ、省エネ住宅、省エネ家電・情報機器、ハイブリッド車・プラグインハイブリッド車・電気自動車
- ・社会システム技術 ～エネルギー効率評価・管理技術の確立～  
民生: HEMS/BEMS、CASBEE  
地域: 物流・交通の高度化(ITS)、鉄道の省エネルギー技術、バイオマス活用技術、ITの高度利用、エネルギーの面的利用

### ○中長期的対策(2030年～)

- ・削減効果の大きな技術 ～抜本的削減に向けた研究開発～  
供給: 原子力(高速増殖炉、次世代軽水炉)、太陽電池(第2・3世代)、水素還元製鉄
- ・超長期的技術 ～究極的に排出ゼロに向けた研究開発～  
供給: 核融合、宇宙太陽光発電

### ○普及策・社会システム改革

- ・新技術の社会への普及を促進するための施策  
～自律的普及を志向～  
トップランナー制度の対象拡充  
エネルギー効率に連動した税制  
中小企業向けファイナンス(国内版CDM)  
省エネ性能表示・認定制度 等
- ・社会システム・ライフスタイルの変革 ～国民意識の変革～  
環境モデル都市  
省エネルギー認定制度の拡充

## 2. 国際的な削減への貢献

### ○環境エネルギー技術の国際展開及び国際貢献

- ・海外での効果が期待される技術 ～途上国等に積極的に展開～  
(知財の保護と適切な対価を前提)  
供給: 石炭火力/CCSの組み合わせ、原子力、太陽光  
需要: 省エネ家電、高効率ヒートポンプ、低燃費船舶、低燃費航空機
- ・国際展開のための基盤整備 ～標準化、知財戦略の推進～  
国際標準化・国際基準策定を積極的に推進  
国際共同研究への積極的な参加

### ○国際的枠組み作りへの貢献

- ・新たな枠組みへの対応 ～次期枠組みを先取り～  
新規対象となる見込みの航空機・船舶での標準の策定
- ・地球観測・予測等への貢献 ～枠組み作りの中心的役割～  
IPCC第5次報告に向けてより一層の貢献

## 3. エネルギー安全保障等

### ○我が国技術の国際展開によるエネルギー安全保障への貢献

- ・世界の化石燃料依存度を低減 ～国際エネルギー供給の安定～